

令和6年度 自己評価結果公表シート

マミーベア保育園うえだきた

1. 保育園の保育目標

- ① 子どもの「やりたい」に寄り添い共感する。
- ② 職員それぞれの特性を知り、発揮しやすい環境を整える。
- ③ 保育者の資質及び専門性の向上

2. 本年度取り組む重点目標

保育 内容	① 子どもとの信頼関係を育む中で子どもの思いに気づき、耳を傾ける。
	② 職員同士の情報交換及びコミュニケーションの確保。
	③ 研修計画をもとに、研修を受ける機会の充実。

3. 重点目標達成に向けての具体的な計画

保育 内容	① 子どもの声を他の職員と共有し、「やりたい」「遊びたい」を叶え、更なる子ども主体への遊びに繋げる。
	② 個々の得意なことを共有し、仕事の分担をし効率化を図る。自己が発揮できる環境を作る。
	③ 個々にあった研修を受け、その後他の職員への研修内容を共有することで、園全体の資質及び専門性の向上を目指す。

4. 重点目標の達成及び取組状況

A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが、成果が十分でない
D: 取り組まれていない

評価項目	結果	理 由
①	B	子どもの遊び様子や面白エピソード等、職員間で共有し、今どんな遊びに興味を持っているか考える場を持つことが出来た。また園内研修では「子ども主体の保育」について意見交換する機会を持つことで共通認識を持てた。

②	A	職員の得意不得意を把握し、分担することでの負担軽減。また、子どもが楽しく生活できるよう遊びや行事等を進めていった。
③	B	研修計画をもとに個々に声を掛け、積極的に受けることが出来た。そのまま受けただけにならないよう、ミーティング時に研修の報告を他の職員に行い、情報共有を図った。また、園内研修も行った。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
子どもや保護者が安心できる環境作り	子ども一人ひとりの特性を理解し信頼関係を築く。日々の成長を保護者の方と喜び合い、共感する。他学年の職員との意見交換することで、より良い保育に繋げる。
自然との関わりを深める	散歩に出かけた際には、自然が感じられるような声掛け、また図鑑を持ち寄り調べたり、探す機会を作っていく。また職員も知識を高める。
保育者の資質及び専門性の向上	昨年度に引き続き、個々にあった研修を受けて、職員同士で情報共有し、記録に残していく。
地域交流を図る また天白区の子育てに関する情報が希薄なので、積極的に情報を得る	地域との関わりを持てるように園外へ出かける。 また天白区の子育て情報についての情報を職員全体で把握する。

6. 園長総評

- ・新任職員が多い中でのスタートだったので、保育者としての資質や専門性の向上を目指した。また、理念・基本方針を伝えてきた。分からないことを「そのまま」にせず、聞ける機会を設けたり、話しやすい環境を整えた。
- ・クラスの子どもの様子や発達を踏まえて保育を進めてきたが、各クラス、学年のみの話し合いが多く、他学年とも交流しながら色々な選択肢を持って保育に臨めると良い。園として安定した保育を確立していことが一つの課題である。
- ・今言われている「主体的保育とは」について理解を深める為に話し合いを重ねた。子どもが主体的・自主的に活動できるよう、また自分で遊びを選択できるようにしたりと、子どもの思いを尊重するようにしてきた。子どもの声を聞いて、遊びの環境を整えていきたい。
- ・日頃からセルフチェックリストで個人の保育が適切であるかを確認し、ミーティングなどを通してお互いに丁寧な保育が行えているか話し合った。さらに話し合いを進め、協力し合う体制を作っていきたい。
- ・時間帯によっては難しい事もあったが、保護者の方とのコミュニケーションを日頃から取れる時には取り、子どもたちの成長を伝えるようにしてきた。子どもたちの様子や育ち、保育内容を積極的に発信し、より一層関係性を深めていきたい。